

さくらほっと NEWS

vol.44

平成30年夏号



喜谷記念内視鏡医療センターにて
後列左から林講師(肝・膵臓内科副部長)、片岡准教授(内視鏡医療センターセンター長)、宮部助教(内視鏡医療センター副センター長)
前列左から長谷川技師、山村師長(看護師)、新里主任(看護師)

喜谷記念内視鏡医療センターを開設...2

新たに3つの組織を立ち上げ.....4

名市大病院のチカラ vol.123

医療機器のスペシャリスト 臨床工学技士
市民公開講座・セミナーのご案内

国の方針に基づき、地域医療連携を推進しています。

国の方針▶医療機関の機能分化

特定機能病院(名古屋市立大学病院)

入院や手術などの専門的な診療・検査を含む高度先進医療を担当

地域の医療機関(かかりつけ医)

風邪などの日常的な病気や症状が安定した慢性疾患などの患者さんに対する医療を担当

地域医療連携の推進

診断が確定し症状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。

※症状が悪化した場合などは、改めて名古屋市立大学病院へ紹介されます。



喜谷記念内視鏡医療センターを開設

今年4月、これまでの内視鏡医療センターをリニューアルし、「喜谷記念内視鏡医療センター」を開設しました。当院の内視鏡検査・治療の体制が強化され、この地域のがん医療にさらなる貢献ができると考えています。

内視鏡検査・治療は多くのがんに対し実施

右表に示すように、内視鏡検査・治療は日本人に重要な多くの種類のがんに対して実施されます。

内視鏡の医療体制を強化することは、多くのがん患者さんに対する診療レベルを向上させることにつながります。

※内視鏡治療は、早期のがんを対象とし、外科治療に比べ術後の痛みの軽減や入院期間の短縮などのメリットがあります。

がん種別死亡数(平成28年)					
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

色がついている がんに対し内視鏡検査・治療を実施します。
「国立がん研究センターがん情報サービス」HPより

これまでの内視鏡医療センターとの違い

1 鎮静下での内視鏡検査が実施可能に

リカバリールーム(※)を新たに設置したことで、日帰りの鎮静下での内視鏡検査が実施できるようになり、より苦痛の少ない検査が可能になります。

※リカバリールーム

内視鏡検査後、鎮静(浅い眠り)から覚めるまでゆっくりと休む部屋のことです。



新たに設置したリカバリールーム

2 最新のX線透視装置と超音波内視鏡システムを導入

最新のX線透視装置と超音波内視鏡システムを導入したことで、より鮮明かつ詳細な画像を見られるようになりました。これまで以上に安全かつ精度の高い内視鏡検査・治療を実施できるようになります。



最新のX線透視装置



個室化された検査室

3 検査室を増設するとともに全ての部屋を個室化

検査室を増設し、より多くの患者さんの診療を行えるようにしました。また、全ての検査室を個室化することで、患者さんのプライバシーの確保を強化しました。

これからも最新かつ安全安心な内視鏡医療を提供します

今回のリニューアルによって、当院の内視鏡診療体制はさらに進化を遂げました。これからもできる限り多くの患者さんに対し、最善・最適な内視鏡検査・治療を提供できるよう、尽力してまいります。



喜谷記念内視鏡医療センター
片岡センター長

名市大病院のチカラ Vol.12

血液・腫瘍内科

難治性の「血液のがん」に対する新規治療法の開発を目指す



血液・腫瘍内科
飯田部長

血液・腫瘍内科は「白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫」を中心とした造血器腫瘍「血液のがん」に対する診療と「貧血、出血傾向、血栓性疾患、不明熱」などをきたす疾患の診療を専門領域としています。

とくに、多発性骨髄腫やT細胞リンパ腫の分野においては、基礎研究から得た知見を活かしながら、多施設共同臨床試験の計画・立案に関わるとともに、ガイドラインの作成にも貢献しています。

患者さんおよびご家族のご理解が得られれば、白血病においてはJALSG(日本成人白血病研究グループ)、リンパ腫および骨髄腫においてはJCOG(日本臨床腫瘍グループリンパ腫、骨髄腫研究グループ)、造血幹細胞移植においてはNBMTG(名古屋骨髄移植グループ)の研究に参加し、最善・最良の治療法の確立のための臨床試験もおこなっています。

また、血液・腫瘍内科の診療においては「より安全な」「より確実な」「より良い」診断、治療を行うことを目標に「チーム医療」をおこなっています。定期的な休日病棟回診、スタッフ全員でのカンファレンスに加えて、看護師、薬剤部、精神科、栄養科など多くのスタッフがそろっての移植カンファレンスもおこなっています。また、造血器腫瘍の診断はときに難しく、治療方針の決定に大きく影響を与えますが、私たちは血液病理医と一緒にカンファレンスを定期的におこない、より良い診療を目指しています。



前列左2人目より李講師、小松准教授、飯田教授、楠本准教授、伊藤助教

小児泌尿器科

小児に日本初のロボット手術を施行 未来へむけた医療をめざして



小児泌尿器科
林部長

小児泌尿器科では、「尿路」と「生殖器」の先天異常疾患に対する手術治療を行います。治療対象は乳幼児・学童ですが、成人のケースにも柔軟に対応しています。

“水腎症”や“膀胱尿管逆流”では腎機能低下を防ぐため、適切な時期に治療を行います。両疾患の治療は開放手術が中心でしたが、私たちは、他にさきがけて腹腔鏡手術を取り入れてきました。また、厚生労働省が定める“先進医療A”の腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術を東海地区で初めて導入し、術後の血尿や膀胱刺激症状を軽減できました。最近では、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた手術にも取り組んでいます(写真)。小児に対するロボット手術の成果は、日本で私たちが初めて報告し、世界へ向けて発信を続けています。

生殖器に対する手術治療も幅広く行っており、手術の時だけでなく、その後の発育など長期的な

経過観察を行っています。患者さんご家族が安心して治療をうけられるよう今後も取り組んで参ります。



【写真】手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」とスタッフ

左から、中根宏講師(地域医療教育研究センター)、加藤大貴医師(泌尿器科)、水野健太郎講師(小児泌尿器科副部長)、林祐太郎教授(小児泌尿器科部長)、西尾英紀助教(小児泌尿器科)

新たに3つの組織を立ち上げ

医療を取り巻く環境が劇的に変化する現代において、当院が今後もさらに発展していくため、4月に下記の部署を新たに設置しました。

災害医療センター

南海トラフ巨大地震等の災害時に病院の枠を越えた地域全体の災害医療体制について、他機関と検討していくとともに、災害時医療の教育研修や災害医療のマニュアル等の整備をしていきます。

地域包括ケア推進・研究センター

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年に向け、政府において医療と介護の一体改革が進められている中で、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、大学・病院・地域が一体となった医療・介護連携のモデル等の研究を推進します。

地域医療教育研究センター

地域の基幹病院に当センターの分室を設置し、センターに所属する医師が当院と基幹病院で横断的に診療・教育・研究活動を行うことで相互の連携を強化するとともに地域の医療水準の向上に貢献していきます。4月にはその第1号として「蒲郡市民病院」に当センターの分室を設置しました。



蒲郡市との協定書締結式
稲葉蒲郡市長（左）と郡理事長（右）

医療機器のスペシャリスト 臨床工学技士



人工心肺装置
操作中

臨床工学技士は『いのちのエンジニア』と呼ばれている、現代医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。人工心肺装置・人工呼吸器・血液浄化装置・補助循環装置・ペースメーカ・植込み型除細動器などの生命維持管理装置の操作及び保守管理を行っています。

当院には、不整脈治療専門臨床工学技士が在籍しております。不整脈領域に携わり業務内容を適切に把握し、指導的立場で専門治療の対応ができる知識・技術・技能を習得した者に与えられる資格

です。不整脈関連業務には、主にカテーテルアブレーション治療とペースメーカ治療があります。心臓カテーテル室では、主に3Dマッピングシステムの操作やラボ、高周波発生装置の操作を担当しています。手術室、ペースメーカ外来や病棟などではプログラムを用いペースメーカや各種デバイスのチェックを行っています。臨床現場における質の高い治療の普及と技術の向上・発展に努めるとともに、患者さんの安全確保に貢献していきます。



3Dマッピング
操作中

市民公開講座・セミナーのご案内

●市民公開講座

日付	時間	会場（定員）	講演者	タイトル	問い合わせ先
6月17日(日)	13:30～15:30	3階 大ホール (300名)	名古屋学院大学 リハビリテーション学部内科 土肥 靖明 名古屋市立大学病院 リハビリテーション技術科 山下 豊	高血圧の管理と健康長寿	医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 TEL：052-853-8221

●患者情報ライブラリーセミナー

日付	時間	場所	定員	講師	内容	問い合わせ先
6月27日(水)	14:00～14:30	患者情報ライブラリー (病棟・中央診療棟B1階)	30名程度 (先着順)	脳神経外科 助教 西川祐介	くも膜下出血にならないためには どうしたらいいの？	患者情報ライブラリー

※次回(8月開催)については当院ホームページ上でお知らせします。

全て事前申込不要(先着順)・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。